

Compass

English Communication

現場目線の教科書

Compass English Communication

村越亮治



■はじめに

いま学校現場では、指標形式の教育目標に基づく授業実践、主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）の視点からの学習過程の改善が求められています。そのような状況のなか、英語の先生方がそれぞれの指導計画や授業デザインに基づき、ある程度の自由度をもって有効活用できる教科書づくりを目指して、*Compass English Communication* シリーズの編集・改訂を行ってきました。さまざまな教室での状況・現実を考え、つねに現場目線で作り上げてきた教科書であると言ってよいでしょう。

■ *Compass English Communication I, II* の紙面構成

原則的に1パート見開き完結型になっており、窮屈で難しい印象を与えないような紙面構成を心掛けています。左側ページの英文には、概要把握のヒントになる日本語でのリード文を示し、新出語句やイディオムに加えて、注意すべき語の発音も掲載しています。右側ページには、内容理解（Answer it!）や文法・表現の定着（Focus on it!, Check it!）・使用（Use it!）のためのさまざまなタスクが用意され、レッスンの最後には Review, Practice, Enjoy communication というポスティング活動があります（これらのタスク、活動についてはあとで詳しく述べます）。

■本文について

シリーズを通して、英文の題材は、生徒の身近

にあり、ある程度の背景知識や経験を持っているもの、話題の人物や最新の技術・科学、異文化に焦点を当てたものなど、多岐にわたっています。読んでいる高校生にどのようなメッセージを与えるかということを念頭に、教材の選択・執筆を行っています。トピックが新鮮なものかどうかということも採用時・改訂時の大きなポイントの1つになっています。英語としての自然さを最大限に考慮しながら、現場の先生方が文構造を説明する際に困らない（適切な日本語に置き換えられるなど）かどうかということを細かく吟味しています。

また、*Compass I* では、‘No BABES’ルールの順守、すなわち、文頭での But, And, Because, Especially, So の使用を避け、正式な英文ライティングの基本を暗示的に示すという配慮もしています。*Compass II* からは現代の英語使用の状況にならって、緩やかに許容しています。

■右側ページについて

Answer it! は内容に関する簡単な Q&A のタスクです。パラグラフの要点などについて英語でたずねる問題で、本文から比較的容易に答えを見つけることができ、複雑な言語操作をしなくても英語で答えられるようになっています。

Focus on it! ではターゲット文法を含む英文を取り上げ、簡単な文法構造、説明などを日本語で記しています。*Compass I* は、中学校既習の文法項目を基礎的なものからすべて復習できるようになっています。太字フォントや色分けした網掛

け、下線や矢印などによって、ポイントを明確に示しています。全体的に、授業のなかで文法解説にあまり多くの時間をかけないですむように、あえて必要最低限の記述にとどめています。

Check it! はターゲット文法の定着のためのドリル演習です。発信に使えるようになってほしい文法項目については、空所補充や語順整序のタスクに、意味理解ができればよいと判断したものについては、日本語で意味を考えるタスクに仕立ててあります。あまり文法指導の負担がかからないように2題の設問にとどめています。

Use it! はターゲット文法や英文トピックに関連する表現の使用練習のためのタスクです。言語の使用場面や働きを簡単に示すために会話形式にしています。生徒の英語力、活動時間などに応じて、Hint Box の選択肢を使わせたり、独自に考えた英語を使わせたりと難易度の負荷を調整することが可能です。

■ポストリーディングの活動について

Review は、リスニングの正誤問題と、読んだ内容を別の形式で整理させる information transfer のタスクからなっています。

続く **Practice** は本文で扱われている、重要な文法・表現・語彙を振り返って学習するためのページです。**Practice A** ではイラストによって具体的な場面を示すことで、context とセットで文法項目を復習できるようにしています。使う語を示し、空所補充のタスクにすることで、生徒にとっては答えやすく、また解答が多岐に渡り過ぎないようにしています。**Practice B** は、日本語をヒントに空所を補充する形式によるイディオムの復習で、原則的に本文（左側ページ）の脚注に立項してあるものを扱っています。**Practice C** は語彙の問題ですが、同一品詞の語からなる選択肢から文中の空所を補充したり、対になる2語から適切な語を選んだり、文脈と語頭の文字から適切な語を書かせたりする形式があります。いずれも、

生徒が無理なく自分の力で言語知識の復習ができるような工夫がされています。

Enjoy communication はレッスンのトピックやジャンルに関連するスピーキング／ライティング活動です。表現のポイントや Hint Box、例文や枠組みを示すことで、無理なく活動できる工夫をしています。より発展的な活動（Challenge）も用意されています。また指導書には、教科書本体にある活動や指導書収録の関連活動のための評価ルーブリックを載せ、それらの活動をパフォーマンステストとして使ったり、授業中の活動として生徒たちに相互評価させたりすることができるようにしています。

■改訂版 *Compass II* の特徴

一番の改訂ポイントはボリュームダウンです。10のレッスンのうち、Lesson 1, 2, 3 については従来の4パートから3パートに削減し、各パートの英文についても再編集しています。Lesson 4以降も1パートの英文の分量を抑え、負担を減らしています。それによって、*Compass I* からのレベルアップの度合いがとても緩やかになりました。また、テキストを減らした分、写真や図表などの拡大・追加・差し替えも可能になり、より親しみやすく易しい印象になっています。

■おわりに

くり返しになりますが、この *Compass English Communication* の教科書は、親しみやすくメッセージがある題材、無理なくカバーしきれる分量、先生方が説明に苦慮しない英語使用、柔軟に活用できるタスクや活動、ということを主眼に、現場目線で、教室現場で起こりうることを想定しながら作ってきました。この教科書がより多くの学校で、楽しみながら4技能を伸ばせる英語授業のお役に立てることを願っています。

（むらこし りょうじ・神奈川県立国際言語文化アカデミア講師）